

真心 明るく 正しく

みどりヶ丘
病院
広報誌

vol.01

2012.4 創刊号

私たちは真心の医療と福祉を通じて、地域の人々に貢献します

祐生会の基本方針

- 地域に密着して安心して医療を受けられる病院、信頼される医療体制の構築、真心の医療サービスの提供
- 高齢化時代に対応するための福祉施設の充実と真心の福祉サービスの提供
- 病診連携の充実による地域完結型の医療サービスの提供
- 予防医療に対する健診・指導の充実、地域健康教育活動の充実
- 受診される皆様の権利の尊重

医療法人 祐生会 〒569-1121 大阪府高槻市真上町3丁目13番1号
みどりヶ丘病院 TEL.072-681-5717 FAX.072-682-6747

<http://www.midorigaoka.or.jp/>

広報誌創刊のあいさつ

医療法人 祐生会 みどりヶ丘病院
理事長 甲斐 史敏

みどりヶ丘病院 理事長の甲斐史敏でございます。この度、みどりヶ丘病院の広報誌を作成することになりました。記念すべき第一号でございます。甚だ僣越でございますが、一言挨拶をさせていただきますたく存じます。

みどりヶ丘病院は昭和46年に甲斐敏晴、名誉理事長が創設しました。当時は60床の病院として始まり、日々発展し続け、今年で創設40年を迎えます。この40年の間、高槻北部を中心とした地域住民の健康を守って参りました。これからも病院の理念であります、「真心の医療と福祉を通じて地域の人々に貢献」していく所存であります。

みどりヶ丘病院も医療の進歩、高槻の発展と共に様変わりしてまいりました。医師も創

立当初の医師団から、現在は35歳から40歳台の熟達した医師たちと若返り、診療の中心を担っています。今回、地域の方々にみどりヶ丘病院が日々行っている内容を、少しでもご理解頂きたいと思い、広報誌を作成することになりました。広報誌の名前は「真心、明るく、正しく」であります。これは、私自身が抱く、理想の生き方であり、みどりヶ丘病院もこうあって欲しいと思います。

みどりヶ丘病院ってどんなことをしているの？どんな人が働いているの？など、定期的に情報を発信させていただく所存であります。我々みどりヶ丘病院スタッフは総勢800名を超えます。自慢のスタッフでございます。これからも地域の健康のために医療、在宅医療、介護福祉に力を注いでいきます。どうか、これからも、みどりヶ丘病院をよろしくお願ひ申し上げます。



みどりヶ丘病院をもっと知っていただくために

医療法人 祐生会 みどりヶ丘病院
院長 新井 基弘

みどりヶ丘病院は昭和46年

12月高槻市の北部に60床で開院いたしました。以来、地域に密着した医療を実践しながら、みなさまに支えられ共に成長してまいりました。

当院の理念は「真心の医療と福祉を通じて地域の人々に貢献します」であります。働き盛りの方だけではなく、ご高齢の方にも安心できる医療を提供するために、職員一丸となって努力しております。当院に入院・通院されている方々には、みどりヶ丘病院のハートを少しはご理解いただいていると思っておりますが、まだまだ不十分であります。

当院で取り組んでおります「安心できる医療」、「良質な安全な医療」を地域のみならず、



さまにご理解いただけるようにホームページのリニューアルを行いました。さらに今年には広報誌「真心、明るく、正しく」を創刊いたしました。この広報誌では、さまざまな「視点」を大事にしていきたい。最先端の医療に留まらず、当院のスタッフの取り組み、みどりヶ丘病院の今、そして将来を紹介してまいります。「真心、明るく、正しく」を通して、みどりヶ丘病院のエッセンスを分かりやすくお届けします。

これからも「真心の医療と福祉」と地域密着型トータルヘルスケアの実現に向けて、急性期病院、教育研修病院、在宅医療支援病院としての使命を果たすべく努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

受診される皆様が
次に掲げる権利を有することを
確認し尊重します

- 自らの心身の状況を知るために、必要な情報を病院から得る権利
- 診療・検査・診断・治療・看護の内容および結果、予後、病状、経過などについて十分に説明を受ける権利
- 自己の自由な意思に基づいて医療行為を受け、あるいは選択し、拒否する権利
- プライバシーの保護を受ける権利
- 診察に要した医療費の情報を受ける権利

脊椎脊髄外科センター

みどりヶ丘病院 脊椎脊髄外科センターの紹介



脊椎脊髄外科センター長
長谷 斉

超高齢化社会を迎え、加齢に伴う脊椎脊髄疾患に悩まされる患者が増加しています。当院では本年1月に専門スタッフの充実により、最先端技術を取り入れて患者の皆さまに安心と信頼される診断治療の提供をめざした脊椎脊髄外科センターを立ち上げました。

本センターでは、首から腰までの背骨(脊椎・せきつい)と、背骨の中を通る神経(脊髄・せきすい)の治療を行います。代表的な疾患として頸椎(首・頸部)では、頸椎症性脊髄症、頸椎椎間板ヘルニア、後縦靭帯骨化症などで、主な症状は、首や肩の痛みや凝り、手足のしびれや歩行障害、ボタンをかけるに

く、お箸をうまく使えないなどの巧緻運動障害、排尿障害などです。胸椎(背中)で多いのは骨粗鬆症による圧迫骨折、円背、そして腰椎(腰・腰部)では、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎すべり症などで、背中・腰・臀部の痛み、大腿、ふくらはぎ、足の痛みやしびれ感(坐骨神経痛)、また歩行困難、間欠跛行、そして排尿障害などです。その他、骨折や脱臼、側弯症、脊椎脊髄腫瘍、カリエスや脊椎炎なども対象としています。

問診と神経学的な診察に加えて、レントゲン、MRI、CTなどで診断します。治療としては、まず必要な日常生活上のアドバイス、薬物療法、装具療法、神経ブロック、そして手術、リハビリテーションまでを行います。手術については、最先端の手術器械、顕微鏡や脊椎内視鏡を駆使して安全で確実な低侵襲手術を行っています。多くの手術では、翌日にはベッドの端に座り食事を開始し、立つ練習、歩行練習をします。早期のリハビリにより入院期

間も大幅に短縮しています。多くの脊椎疾患は、自分の体起こっている年齢的な変化、病的な変化を理解することで今後の治療と進行予防が可能となります。

具体的な自験例

93歳の男性患者。腰痛と両下肢痛、歩行障害で受診されました。MRIでは腰椎に陳旧性圧迫骨折と3カ所に強い脊柱管狭窄を認めました。低侵襲手術を行い、翌日からリハビリを始め、また好きな散歩ができるようになりました。

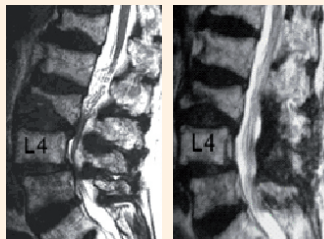


図 腰部脊柱管狭窄症 93歳
左：術前MRI 右：術後MRI
狭窄していた脊柱管が術後に拡大し、脊髄神経の圧迫がなくなった。

リハビリテーション科

当院リハビリテーション科の紹介



リハビリテーション科医長
森脇美早

かつては脳卒中後遺症の麻痺や症状が安定してからの、機能代償用としての位置づけが中心であった装具療法ですが、発症早期から取り入れることで治療成績が高くなる事がエビデンスを得ており、近年その重要性が叫ばれています。当院ではこれら装具療法に力を入れるべく、今年度より装具診(Buracco)を週2回、定期開催することにいたしました。装具診にはリハビリテーション科医・義肢装具士・理学療法士・作業療法士が関わり、最新の知見を取り入れた装具療法を行います。週2回行うことで、検討から完成までの期間をより短縮させることができます。

また、当院では摂食嚥下への取り組みを強化しています。嚥下造影(VF)検査後にはVF

かつては脳卒中後遺症の麻痺や症状が安定してからの、機能代償用としての位置づけが中心であった装具療法ですが、発症早期から取り入れることで治療成績が高くなる事がエビデンスを得ており、近年その重要性が叫ばれています。当院ではこれら装具療法に力を入れるべく、今年度より装具診(Buracco)を週2回、定期開催することにいたしました。装具診にはリハビリテーション科医・義肢装具士・理学療法士・作業療法士が関わり、最新の知見を取り入れた装具療法を行います。週2回行うことで、検討から完成までの期間をより短縮させることができます。

また、当院では摂食嚥下への取り組みを強化しています。嚥下造影(VF)検査後にはVF

チーム(リハ科医・言語聴覚士・歯科衛生士)によるミーティングを全例に行い、経口摂取の可否のみならず、食事の工夫や訓練方法を検討・発案しています。入院患者さまにおいては従来のVF評価だけでなく、ICU急性期病棟を中心に摂食・嚥下回診を開始致しました。

チーム(リハ科医・言語聴覚士・歯科衛生士)によるミーティングを全例に行い、経口摂取の可否のみならず、食事の工夫や訓練方法を検討・発案しています。入院患者さまにおいては従来のVF評価だけでなく、ICU急性期病棟を中心に摂食・嚥下回診を開始致しました。

教室カレンダー

日程	曜日	開始時間	開催内容
4月28日	土曜日	14:00	糖尿病教室 眼科(亀井医師)の講義 薬物療法について
5月26日	土曜日	14:00	糖尿病教室 食事療法について
5月19日	土曜日	14:00	看護の日 健康フェア・バザー
5・6月頃予定	土曜日		高脂血症教室 高脂血症の病気の知識、 食事・運動療法について
6月23日	土曜日	14:00	糖尿病教室 看護師の講義
7月28日	土曜日	14:00	糖尿病教室 検査科の講義・食事療法について

日程	曜日	開始時間	開催内容
8月頃予定	土曜日		腰痛教室 腰痛とは、体操マッペンジー法について
夏頃予定	土曜日		整形教室 肩と腰の痛み、病理について
9月15日	土曜日	14:00	糖尿病教室 内科(高橋医師)・ 放射線技士の講義
10月27日	土曜日	14:00	糖尿病教室 理学療法士の講義

参加ご希望の方は、病院(072-681-5717)までご連絡下さい。
受付時間:9:00~16:00 会場は当日受付にてご案内いたします。

院内感染対策における活動

看護部 感染管理課長
瀬尾悦子

近年、医療技術の進歩や患者の高齢化、使用薬剤の多様化によって院内感染のリスクが高まっています。昨年は新聞紙上でもインフルエンザやノロウイルス等の集団発生が報告されている事からも、院内感染対策は非常に重要です。

私は、昨年12月からICS (Infection Control Staff)として活動しています。毎日病棟のラウンドを行い、感染症患者の発生状況を把握し、感染対策についてスタッフへの指導や助言し、相談も受けています。また、ICD (Infection Control Doctor)が中心となって院内の抗菌薬の使用状況や感染症患者の発

生状況、環境整備の実施状況等を定期ラウンドで確認し、必要に応じて指導することで積極的に感染対策に取り組んでいます。

職員教育として、当院では新人研修や年2回の定例研修会に加え、インフルエンザやノロウイルス等は発生が予測される事前の段階で、タイムリーに研修会を行っています。

感染対策は、職員全員の標準予防策の遵守と、感染症発生時の迅速な対応が不可欠です。

今後、院内感染対策に関する最新情報の習得や医療器具の採用にも検討を重ねてまいります。



糖尿病教室の紹介

糖尿病外来 看護師
石井 友加里
安田 敦子
(フットケア外来)

みどりヶ丘病院では、地域住民の健康増進や糖尿病患者さまの合併症予防のために、糖尿病教室を毎年開催しています。

糖尿病内科の高橋医師を中心に看護師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・放射線技師が糖尿病教室の企画・運営を行っています。

糖尿病は自己管理が重要となる病気です。糖尿病教室では、患者さま自身が病気を十分理解し治療法を実行できるように、様々な知識を得ていただいて行動のきっかけになることを目的としています。

平成23年度の糖尿病教室は6回開催、合計121名という、多くの方々にご参加いただきました。患者さまのお声として、「大変役に立った」「すぐに活用できそう」「来年も続けて欲しい」などの好評

をいただいています。平成24年度も全7回の開催を予定しています。

ご参加の方が糖尿病について楽しく学んでいただける様に、スタッフ一同毎回努力を重ねています。関心をお持ちの方は、ぜひご参加下さい。お待ちしております。



みどりヶ丘訪問看護ステーションの紹介

管理者
東 小百合

当訪問看護ステーションは、かかりつけの先生から訪問看護指示書をいただき、在宅で過ごされている方々に

対し、点滴、褥瘡処置、排便管理、リハビリなど様々な診療補助行為を提供しています。現在、開設12年目、スタッフは看護師12名・リハビリスタッフ(P.T、O.T、S.T)18名であり、利用者数は442名と比較的大きな規模のステーションです。これまで様々な患者さまを訪問し、幅広いご要望に対応しています。看護師は、24時間の緊急時訪問体制をとっており、何かあれば祝日・夜間にも訪問しています。最近では、がん末期の方のターミナルケアの依頼や在宅での看取りのための訪問も増えています。

また、多数の専属リハビリ

スタッフが、運動、生活動作だけでなく、認知症や言語聴覚士による嚥下に対するリハビリも行っています。昨年、ヘルパーステーションも開設し、訪問介護との連携も行きやすい環境になっています。今年3月には、高槻市の南側、柱本にサテライト事務所を開設し、より広い範囲で、より柔軟な対応のできる体制を目指しています。

当ステーションでは、専門知識・技術だけでなく、コミュニケーションを大切なものとして掲げています。利用者、ご家族が地域で安心して過ごしていただくために本来に必要なものが提供できるように、皆様との対話を大切にしてまいります。



栄養課

「食生活チェックをしましょう」

管理栄養士 岩津 ゆり

栄養課では、栄養指導や糖尿病教室を通して、皆さまの食生活を改善できるように取り組んでいます。特に血糖値やコレステロールなどが高いと言われている方にとって食生活の改善は大変重要です。そこで、今回は簡単な食生活チェックをしたいと思います。当てはまるものにチェックをつけてみてください。

- 早食いである
- お菓子が目の前にあるとつい食べてしまう
- 夕食をとるのが遅い
- 1日の食事中、夕食が豪華で量も多い
- 何もしていないとつい物を食べてしまう
- 油っこいものをよく食べる
- 食料品を買うとき、必要量よりも多めに買ってしまう

いくつチェックができましたか？

1つでもついた方は、それが血糖値などの高い原因になる可能性があります。本日から改善してみましょ。その他、食事について気になる点があれば、お気軽にご相談ください。



薬剤部

薬剤部の取り組み

薬剤部 福田 剛

薬剤部では医薬品の管理を基本に、患者さまの内服・注射の調剤業務や医薬品の情報提供等を行っています。特に薬剤部として薬剤管理指導業務を積極的に取り組んでいます。毎日、薬剤師が担当病棟での薬剤管理指導業務に当たっています。業務内容は、薬歴の作成・管理、服薬指導、薬剤情報の提供、麻薬の指導を行って、患者さまが安全に安心して薬剤が使用できるようにサポートしています。

近年、医療技術の進展とともに薬物療法が高度化し、医療の質の向上及び医療安全の確保の観点から、薬剤師もチーム医療に参加することが重要視されています。それが病院勤務医の負担軽減へ繋がる国の方針でもあります。今、薬剤師の真価が問われている時期が来ています。当院でも、NSTチーム等が稼働しています。今後も薬剤師一同、日々勉強し努力していきます。



放射線科

みどりヶ丘病院 骨密度測定装置の紹介

放射線技師 村山 浩幸

日本は世界一の高齢化社会で、骨粗鬆症患者は今後も増加傾向にあります。そのような状況で、骨折して寝たきりになる人の急激な増加が懸念されており、正確な骨密度測定による骨粗鬆症患者の早期発見、治療、予防が必要とされています。

みどりヶ丘病院では、GE社製PRODIGY Primoを設置しています。この装置は被曝を軽減して、高画質の測定画像を得ることができ、測定前と測定中には前回画像データを表示でき、同一ポジションでの測定が容易な第三世代の測定方式を持つ最新鋭の腰椎用X線骨密度測定装置です。

主な検査部位は腰椎、大腿骨で検査時間は3～5分以内で行なえ、仰向けでじっとしているだけで痛みや息止めもない検査です。

※骨密度測定検査を希望される方は、各診療科の担当医師にご相談ください。



検査科

検査室改装を経て 超音波検査の充実・血管検査開始

臨床検査科 竹浦 雅代

この度、検査室の改装工事の為、ご迷惑をおかけ致しました。改装も無事に終わり、より一層患者さまのお役に立てるように、努力していきたいと存じます。ご協力ありがとうございました。

さて、超音波検査(エコー)を検査技師もやっている事を皆さまご存知でしょうか。現在、心臓超音波検査を火曜日・金曜日に検査技師が施行しています。検査技師が行う事で、医師が診療に集中できます。また、手術前の心機能評価がスムーズに行える事で、より安全に手術を受けて頂けます。今後は、エコーの施行が出来る技師を増員し、緊急検査に対応できる体制を目指します。

新しく血管の内皮機能(FMD検査)を測定する機器も導入いたします。これは、動脈硬化が引き起こす疾患(心疾患・脳梗塞など)の早期発見、早期治療に有用です。ぜひ、主治医にご相談下さい。



関連施設の紹介

医療法人 祐生会

みどりヶ丘訪問看護ステーション	高槻市西真上1丁目35番17号	TEL072-681-5605
サテライト柱本	高槻市柱本1丁目1番8号	TEL072-668-5522
みどりヶ丘ホームヘルプステーション	高槻市西真上1丁目35番17号	TEL072-681-7099
みどりヶ丘ケアプランセンター	高槻市緑が丘1丁目6番2号	TEL072-681-5794
みどりヶ丘ケアプランセンターつかはら	高槻市塚原4丁目7番1号	TEL072-697-0037
みどりヶ丘介護老人保健施設	高槻市奈佐原4丁目7番1号	TEL072-692-3111
グループホームみどりヶ丘荘	高槻市奈佐原4丁目7番1号	TEL072-692-3287
みどりヶ丘デイサービスセンター川西	高槻市川西町1丁目33番12号	TEL072-686-3451

社会福祉法人 みどりヶ丘会

グリーン特別養護老人ホーム	高槻市奈佐原4丁目7番15号	TEL072-690-3331
グリーンケアハウス	高槻市奈佐原4丁目7番3号	TEL072-690-3561

編集後記

広報部より

今回、新しく広報誌を制作する事となり、最初は手探りの状態でした。各部署より掲載する原稿や写真が集まり、広報誌が少しずつ形になっていく。これぞチーム医療の原点だと感じました。今後は職員一丸となって、地域の皆さまにみどりヶ丘病院での取り組みを、広報誌を通じて発信していきます。宜しくお願ひ致します。